

台風が過ぎても残暑は続きます。屋内にいても水分補給を忘れずに。

デイサービス八重桜本店

西 勝康

【夏祭り】



さあ、待ちに待ったお祭りの日。フロアはお祭り気分を存分に味わっていただけよう。紅白の垂れ幕や提灯などで飾り付け、女性職員は浴衣姿で、男性職員も甚平姿で皆さまをお出迎えいたしました。今日は無礼講と言わんばかりに、いつものステージクルとは違って、歌を歌っていただいたり各コーナーに設けたゲームをしていただいたりと、朝から会場は大盛り上がり。専務からは、日頃の感謝の気持ちを込めて皆さまにご挨拶がありました。午後からの恒例のくじ引き大会でフロアの盛り上がりは最高潮に。今まさしく欲しいと思っていたもの、ウン!?と思うもの、いろいろあるかとは思いますが景品がくるまでのドキドキ感もつたまらない!!「ハイ!○○さん一等賞」フロア内が歓声の渦に巻き込まれ楽しい一日の幕が閉じられました。

【土用の丑の日】

夏真っ盛り!!八重桜本店では特に夏は滋養がつくとされている鰻を皆さまに召し上がっていただきたく、土用の丑の日にお楽しみランチを企画致しました。タレを滲みこませたご飯の上に、食べやすいように一口サイズに切れ目を入れた鰻をのせ、その他、とりの付け合わせをそえてお出ししました。

配膳が整った頃、料理長からは、一つ一つ心を込めた献立の説明をしましたが、お料理を前にしたご利用者さま達はもう目の前の御馳走を食べたくてウズウズしてしょうがない御様子。さあ、召し上げ!!ご利用者さまからは「とても美味しかった。」「目の前にある鰻を早く食べたかった。」「説明が耳に入らない。」「など、お喜びの声を沢山いただきました。皆さま、鰻のよ

うに長く生きて参りましょ。



バリアフリーレストラン

西 勝康

食べることは例外なく人生の楽しみのひとつであることは疑う余地はないでしょう。家族や友人との外食はひとときわ楽しいことです。しかしながら要介護者にとっては、外食はままならないことです。

私たちの施設では、個々の嚥下などの問題に応じて、一口大、刻み、ミキサーなどの処理で料理形状を変えたり、量を調整したりするなどカスタマイズするのですが、一般のレストラン等の飲食店では、そうした切実なニーズに対して対応できる店はほとんど無いのが現状です。

また、調理以前の問題として、車椅子での来店に対して玄

桜の広場

関をはじめ、店内も全てバリアフリー構造でトイレも車椅子のまま使えるように広めに設計されている必要がある。また通路幅や席の間が広いことも必要です。

要介護・要支援高齢者は毎年増加し、現在では約七百万人で、今後とも間違いなく増えていきます。更に身体障害者は約四百万人います。これらの人々が、家族・友人と普通に利用できる飲食店が何故ないのでしょうか。飲食店の目線で見ると採算効率が悪いからだと推測されます。これはやはり私たちのような介護事業に携わる者に課せられた宿題と感ずります。

ここらの遊歩道

大きくても三十七センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか?
川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。
そのときは負けたように思っても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。
人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちよつとだけでも成長しようと思がける。
そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグリーンと大きくなっているはずですよ。

随筆家 斎藤茂太

デイサービス八重桜 朱雀

【今年もやってきました！夏祭り】



今年もやってきました夏祭りです。ワクチン接種も完了して、無事一皆さまと一緒に令和三年の八重桜朱雀館夏祭りを開催することができました。まだ色々制限がありますが、夏の気分を味わっていただける一番のイベントになりました。室内は、紅白幕で覆い、浴衣、甚平、法被を着た職員がお出迎えをさせていただきました。催し内容は、盆踊り、自家製焼き立てペーパークラスター、花火大会です。「輪になっていっばい踊ろう盆踊り」では、音楽が鳴ると自然に体が動きだします。皆さま、たくさんのご参加ありがとうございました。その後、ペーパークラスターとジュースを召しあげていただきました。あるご利用者さまは、昔踊った盆踊りを思い出されて楽しんでました。テレビで夜の花火大会の上映を予定していたのですが、全国的に中止したので放映出来ませんでした。

【ピアノ演奏して夏の歌を合唱】

職員がピアノを演奏し、皆さまとたくさん夏の歌を歌いました。やはり生の楽器の音は良いですね。今回も歌と歌の間にとっても楽しいトークがあり、前回のリクエスト曲もたくさんありました。聞きほれる方、涙ぐまれながら聞かれる方、大きな声で歌ってください方、色々な楽しみ方があるレクリエーションになりました。また、リクエスト曲をお待ちしておりますので、是非ご要望宜しくお願い致します。レクリエーション後、皆さまは喉がカラカラになっていたのでしっかりと水分補給をさせていただきました。歌っている時間や楽しい時間は、時間経過が早くないですか？あつあつ間に最後の曲になってしまいますね。また、次回をお楽しみにお待ちください。



デイサービス八重桜 押熊

【待ちに待った夏祭り】



今年の夏祭りは、縁日でお馴染みの射的ゲーム、千本引き、輪投げを行いました。射的ゲームは、的に当たっても、倒すのはなかなか難しいゲームです。「ヤッター、いっばい倒したよー」「あかん、なかなか、倒れへんわー」と言いながら、一生懸命に獲物を狙っていました。千本引きは、沢山の紐の中から一本選んで引っ張ります。何が当たるかはお楽しみです。賞品は、扇子・ポシエット・肩こり用マッサージ器・靴下、ハンドタオル・フリカケなどです。輪投げは、階段にペットボトルを置いて的にしました。輪っかは思うように飛ばず、皆さま苦労しておられました。お昼は、焼きそば・おでん・おにぎり・パン・フルーツ・タコなしのたこ焼きと盛りだくさん。美味しい、美味しいと、楽しそうに召し上がっておられました。一口でした。

【今月のたのしい工作】

今月の工作は、秋の花であるコスモスを作りました。皆さまは、コスモスの花言葉をご存知でしょうか。白のコスモスの花言葉は「優美」「美麗」。赤のコスモスの花言葉は「乙女の愛情」。ピンクのコスモスの花言葉は「乙女の純潔」。黄のコスモスの花言葉は「野生の美しさ」。いずれも、可憐な花から浮かぶ、「美しい乙女」という言葉につながっています。

さて、今日の工作は折り紙を細く短冊切りにして、ギザギザ切りのハサミで花びらを飾り切りしていきます。黄色やピンク、オレンジの花びらを一枚一枚丁寧に糊付けします。真ん中にオシベをつけたら完成です。細かい手作業をしながらのリハビリ工作です。途中でチョット一休みしながら根気よく張り付けていきました。今回作った花びらを使って、更に大きなお花畑を作っていく予定です。



デイサービス八重桜 平城

【夏祭り】



今年はお盆の時期での夏祭りです。金魚すくいや玉入れに加えて、職員達の写真が「的」になった射的では、笑いの中のナイスショット。カラオケのご自慢の後には、ご利用者さまと職員のペアによるスイカ割りです。「もっ」と前「右」「左」などの声飛び交う中、スイカが割れて甘い香りが漂い、拍手で盛り上がります。

午後は、用意されたスイーツの中からカラシの入ったのを選んで食べた職員の反応に大笑いした後、一同が輪になって、夏の風物詩「盆踊り」へと続きます。五十年前の万国博で、世界の人々が集まり、握手を交わして理解を深めたことを思い出し、「世界の国からこんにちは」を合唱して締めくくりました。皆さまと職員が共に輪が世界に広がりますように。

【ハエたたきゲーム】

ハエは、最近ではスプレーなどで簡単に退治できますが、やっぱりハエたたきが主流だった時代が懐かしいですね。漫画風に描かれラミネートされた沢山のハエの絵がテーブル上に散らばり、絵の表面にはマジックテープが貼り付けてあります。裏側にマジックテープを貼り付けたハエたたきでたたくと、ハエがくっつく様になっています。まずスタッフが試してみると、「ハチツ」という音が響き渡り、皆さまも気合いが入ります。1つ1つの間にか「えんやこび」の掛け声と共に「大漁うたいごみ」の合唱が始まり、童謡、民謡、懐メロに合わせてのハエたたきとなり、職員と共に、笑いのひとときでした。ゲームの後は、並び合わせたテーブルをそのままにして、皆さまでそれを囲んで、おやつを一緒に召し上がって頂きました。「普段離れたテーブルに座っておられる方々との茶話も良いもんだね」とのお声も聴かれました。



デイサービス八重桜 西奈良

【初めての夏祭り】



今日は、西奈良館の開所から初めて行われる夏祭りの日です。ご利用者さまも職員も楽しみにしていました。職員は、ご利用者さまに楽しんでもらいたくミートリングを何度も行い、時間いっぱいスケジュールを計画しました。

施設長の開始の挨拶から始まり、ゲームコーナーへの参加と待ち時間の間はジューズやおやつで雑談をしながら楽しんでいただき、昼食前の体操の代わりに盆踊りの定番の炭坑節や東京音頭で体をほぐしていただきました。

昼食は、おでんと焼きそばやきゅうりの浅漬けとおにぎりを味わっていただきました。午後には、職員手作りの神輿を担いで記念に一枚パチリ。

おやつに用意したケーキも、ハズレなしのくじを引いてもらう抽選会で楽しみました。

【目指すは高得点！のつけてゲーム】

西奈良館では毎月新しいレクリエーションや行事を考え、ご利用者さまに楽しい時間を過ごしていただいています。今月は、テーブルや段ボール箱の上におじゃみをのせるゲームを行いました。

一見簡単そうにみえますが、これが中々難しく、優しく投げるとおじゃみは届かず、強く投げると奥まで飛んでしまうのです。初めて行うゲームに「私にも出来るかな。」と緊張気味のご利用者さまでしたが、いざ始めると一球、一球投げるたびに「のったー」「と言はれたり、「あかん。飛ばしすぎた！」と悔しがられたりと白熱したゲームになりました。段々慣れてくると、ご利用者さま同士でアドバイスをしたり、「頑張れ！」とエールを送る方もおられたりと、交流を深める有意義な時間となりました。



作る楽しさ・食べる楽しさ

森村 正子



自分の中で介護は無関係と思っていました。母を看病するようになり食が細くなる母になんとか食べてもらおうと、色々模索しながら調理しましたが結局は何もできませんでした。母が他界して一年が過ぎた頃、デイサービスで調理師として働いてみないかと誘われ介護の現場で働く事になりました。毎日家で作っている料理を提供していましたが、仕入れや毎日のメニューの他掃除に洗濯と雑用の多さと調理に関する事で周りに相談できる人もいませんでした。そんな時に、介護食士の講座があることを知りすぐに受講しました。よく「介護食士」って何？と聞かれますが内閣総理大臣が許可した公益社団法人全国調理職業訓練協会によって認定される資格で、要介護者向けの食事を提供できる専門知識を学びます。一緒に受講したメンバーにも恵まれ毎週土曜日の一年間でしたがとても楽しく充実した時間になりました。皆とは働く場所や思う人は違いますが頑張っています。私もまだまだ未熟ですが入居者様の楽しい食事のお手伝いが出来れば嬉しいです。

馳せ走る 食の匠 のひとりごと

美味しさとは

西 勝康

私たちは食に関して、いつも美味しいものを食べたいという願望があります。とここで、美味しいという感覚の要素は味覚であることは誰でも分っていることですが、実はそんなに単純ではありません。味覚、甘味、塩味、旨味、苦味、酸味以外に視覚、嗅覚や食感があります。食感とは、主な表現としてはさっぱりとした口

俳句教室発表句

(敬称を略します)

お彼岸で 部屋からこつそり 政 後 三美子

コロナ禍でお墓に行けない今日この頃ですが、ご先祖様に気持ちが届きますよ

さんま焼き 野良猫たちと 会話する 明 星 明 子

お好きな猫ちゃんたちを思い浮かべての俳句で、季節感を感じますね

終戦記念日 永久に季語たれ すべての世界 河 野 ア サ

反戦に対する思いが感じられます

お盆は 皆寄り ご馳走を 金 子 きさ子

お盆に家族が集まり、ご馳走を食べている風景が浮かびます

祖母の日に 涙が光る 終戦記念日 森 岡 崇 子

祖母の終戦中の体験が読み込まれています

アメリカンチェリー 今年に粒に 会ったことない 大 山 満 子

粒に会うという擬人的表現が、実感を誘います

鮎ずしや 小舟浮かべて 一服す 大 城 聖 三

風景を観ながら好きなものを食べておられる風景が浮かびます

あたり、なめらかな舌ざわり、つるりとした喉ごし、シヤキシヤキした歯ごたえ、サクツとした歯ざわりなどがあります。そして、更には食事環境、体の状態、食文化等も影響します。このように「美味しい」と感じるには多くの条件が揃わなければならない訳です。ですから美味しい食事が出来たら、とてもラッキーなことだと思わなければなりません。



八重の家通信 16

幼いころを思い出す夏祭り 小島 桂子



今年夏は、新型コロナウイルス蔓延のために、一言でいえば「我慢の夏」「緊張の夏」です。まさに「隠忍自重」の日々。日頃の皆さまのストレスを吹き飛ばし笑顔になっていただけるようにとの願いを込めて、夏祭りが開催されました。輪投げ、コイン落とし、ゲーム、たこ焼き、から揚げ、スイカ割り、職員によるピー玉つかみトーナメントゲームやカラオケ、盆踊り等、和氣あい、笑いあり、涙ありの、ひと夏の楽しい思い出がまた一つ増えました。

先日、あるご入居者様から夏の思い出として、幼少の頃、お母さんに浴衣を着せてもらい一緒に盆踊りに行ったことが楽しかった、と教えていただきました。私も朝顔の柄の浴衣を母親に着せてもらい、夏祭りで盆踊りを無心に踊った事が懐かしく思い出されます。なんだか、綿菓子のような甘い、ふんわりとした思い出です。そういえば、蝉の鳴き声も気付けば聞こえなくなり今年の夏も終わっていきまます。まだまだ、コロナ感染予防に努めて参りますが、今年も無事に夏祭りが開催できた事に感謝申し上げます。来年の夏祭り、今から楽しみにしています、と嬉しいお言葉ありがとうございます！

